

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 2 6 日 更新

事務事業名		竹迫初市振興会活動支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	3	教育の健康			所属部	産業振興部	課長名	榮 峰男
	施 策	13	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成			所属課	商工振興課	担当者名	樋口 良平
	施策の柱	46	歴史・伝統文化(文化財を含む)の保護と継承			所属班	商工振興班	(内線)	5215
予算科目		会計一般	款 7	項 1	目 2	事業連番 10926	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地域の観光資源である竹迫初市を実施する振興会(商工会、関係地区の区長、市、農協等で組織)を助成し、地域振興を図る。 コロナ禍以降は開催されておらず、令和5年度も未実施。
【業務の流れ】	申請受付、交付決定、支払、実績報告 調整会議等への出席及び市広報等PRなどの支援
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	来場者数の減少に伴い日程や場所を変えながら開催されてきたが、初市の歴史を広く知ってもらい地元の呼び物として再び根付かせるため、元々開催されていた参宮線界隈での開催が適当との意見が寄せられた。平成28年度から参宮線界隈で開催。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
竹迫初市振興会による開催だが、実行委員会の判断により、令和5年度の竹迫初市は開催されなかった。		開催の動向に注視しながら、市民に向けて竹迫初市の情報を発信していく。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア: 振興会団体数	団体		
⇒ イ:			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
竹迫初市振興会	⇒ ア:		
	⇒ イ:		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
伝統ある初市を後世に継がせると共に地域振興を図る。	⇒ ア:		
	⇒ イ:		
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
来場者数が増加し初市が賑わう事で成功したと実感でき、振興会の活性化に繋がる。			全体計画
			~ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア	団体	23	23	20	23	20	20	20	20
	イ									
② 対象指標	ア									
	イ									
③ 成果指標	ア									
	イ									
投 入 費 用	財 源	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円			80	80	80	80	80
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	0	0	80	0	80	80	80
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	0	2	1	2	2	2
入 費 量	人 件 費	延べ業務時間	時間	55	0	0	350	55	55	55
		(B) 人件費計	千円	215	0	0	1,274	219	219	219
	トータルコスト(A)+(B)		千円	215	0	80	1,274	299	299	299

事務事業名	竹迫初市振興会活動支援事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度の後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 竹迫初市の内容等について主催者が検討中であるが、開催する意向である。
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 竹迫初市が開催されなかった、目標が達成されなかった。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 来客数が増えれば初市が成功したと判断する団体が増加するため、成果の向上につながる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似する事務がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の経費であり、さらなる削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 会議、初市の参加のみであり削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 対象者を市民にしているため公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 初市振興会（商工会、市、教育委員会、JA、シルバー人材センター、関係地区の区長で組織）が実施しており役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

コロナ禍を経て様々なイベントの在り方が変わりつつあり、今後の開催について注視が必要である。また、広報・PRの強化による来場者数は増加は重要なため、市の支援は不可欠である。本事業は地元の事業所及び住民の協力が醸成から、地域文化を育むという観点において評価できる。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												